



平成30年2月分 大分税関支署管内貿易概況

平成30年4月5日
門司税關 大分税關支署

県全体の貿易額

輸出額は553.8億円、前年同月比11.2%減、17か月ぶりのマイナス
有機化合物、銅及び同合金、船舶類などが減少
映像機器などが増加

輸入額は985.3億円、前年同月比19.2%増、2か月ぶりのプラス
銅鉱、原油及び粗油、鉄鉱石などが増加
石炭、揮発油などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	6,099	66.6	11.0	鉄鉱石	16,806	144.1	17.1
鉄鋼	16,067	89.1	29.0	銅鉱	29,034	163.9	29.5
銅及び同合金	7,843	74.5	14.2	石炭	10,372	64.8	10.5
事務用機器	10,042	95.1	18.1	原油及び粗油	15,049	218.8	15.3
映像機器	9,217	288.1	16.6	揮発油	5,958	55.4	6.0
船舶類	-	全減	-	液化天然ガス	12,976	119.4	13.2

港（通関官署）別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

大分) 輸出は546.8億円、前年同月比10.9%減。有機化合物、銅及び同合金、船舶類などが減少
輸入は981.2億円、前年同月比20.1%増。銅鉱、原油及び粗油、鉄鉱石などが増加

佐伯) 輸出は0.9億円、前年同月比10.6%増。木材が増加
輸入は4.1億円、前年同月比71.6%増。一般機械、石こうなどが増加

津久見) 輸出は6.2億円、前年同月比32.3%減。セメント、石灰石が減少
輸入は74万円、前年同月比99.9%減。アルコール飲料が減少

**大分
空港**) 輸出入実績なし

港名（通関官署）

(単位：百万円、%)

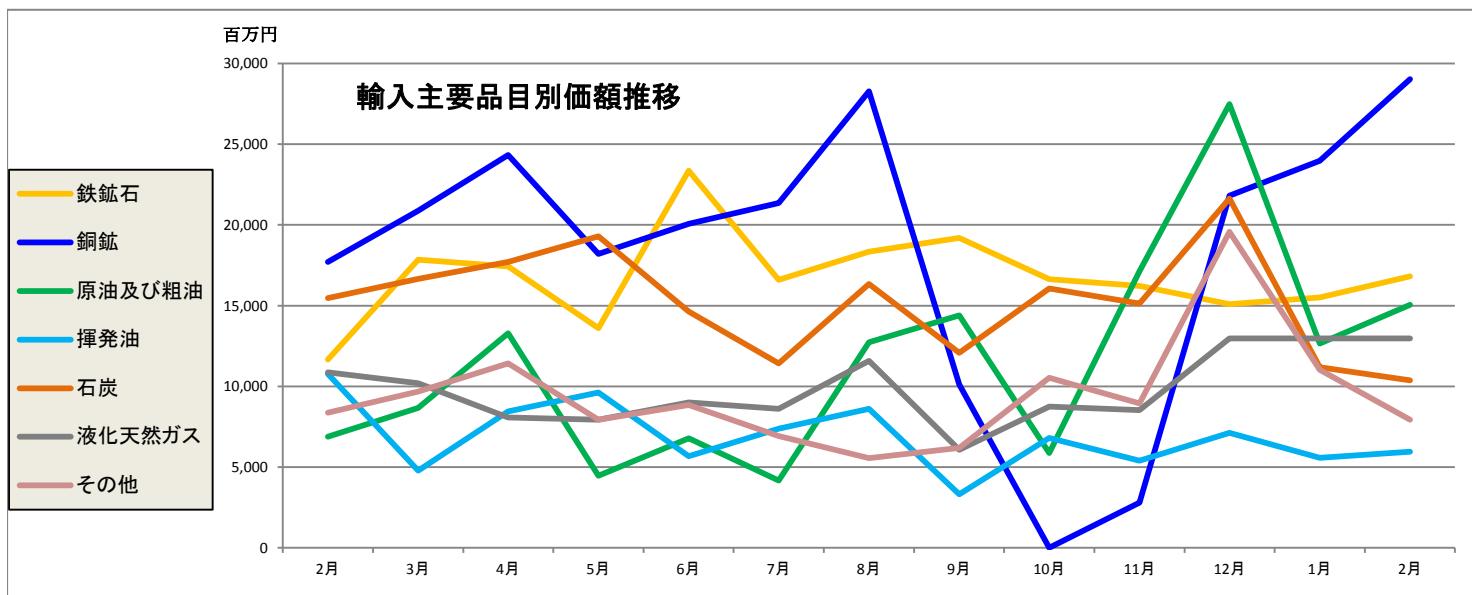
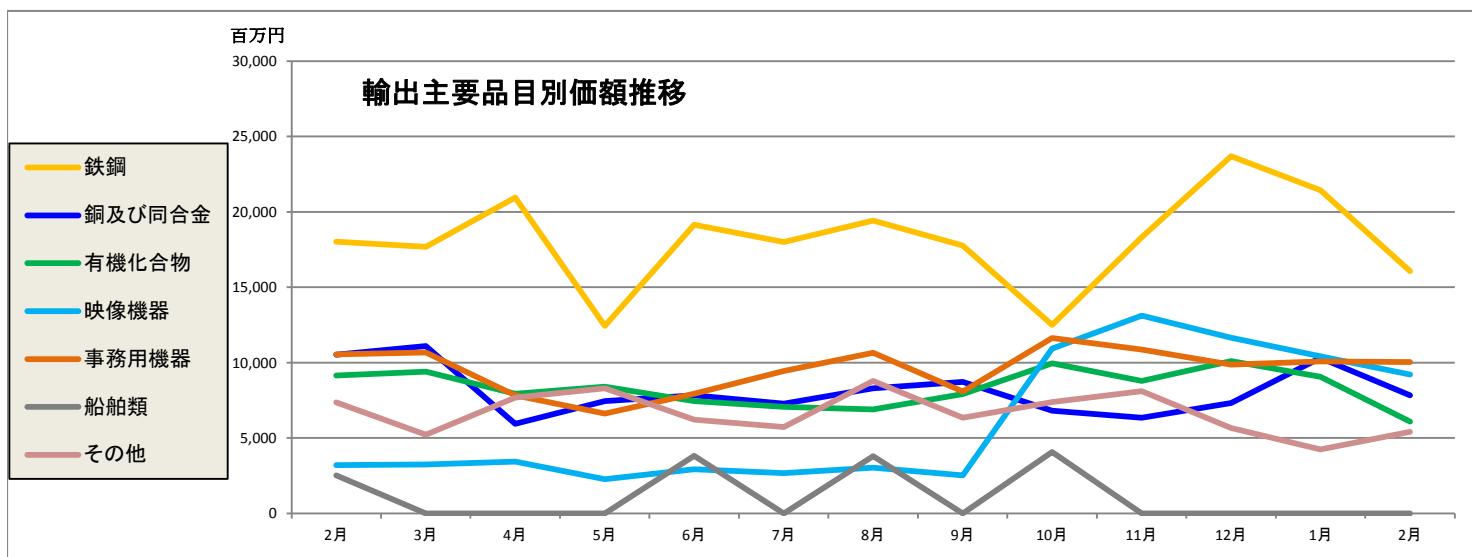
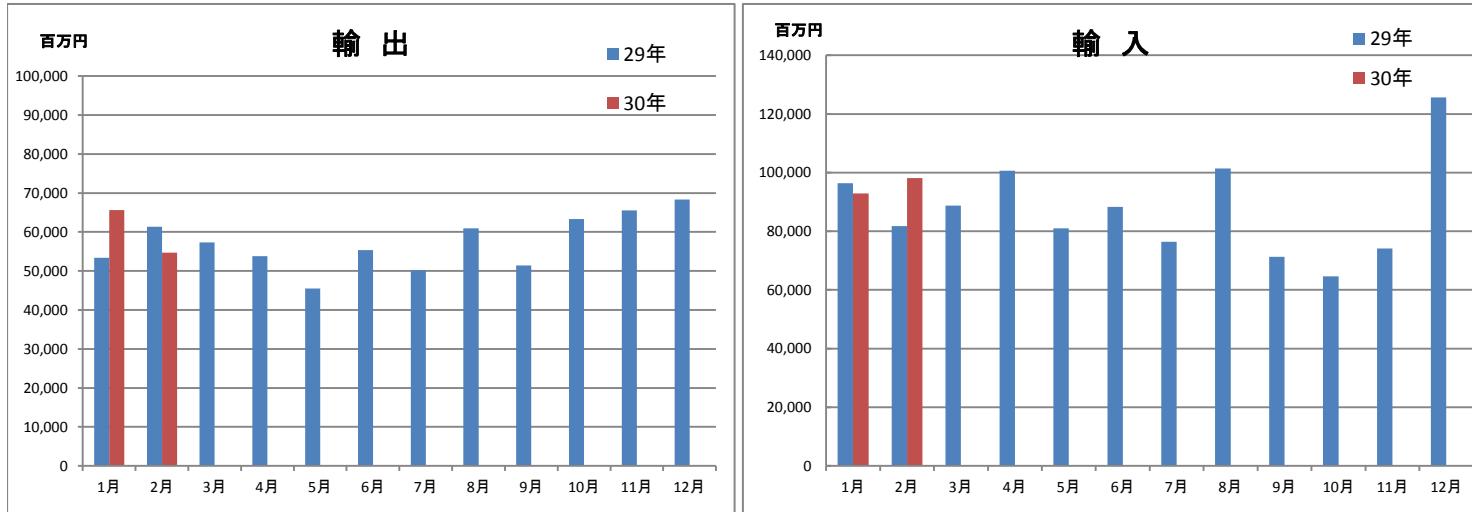
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額
大分(大分)	54,677	89.1	16か月ぶりのマイナス	98,120	120.1	17か月ぶりのプラス	入超	43,442
佐伯(佐伯)	86	110.6	3か月ぶりのプラス	410	171.6	2か月連続のプラス	入超	324
津久見(津久見)	619	67.7	3か月ぶりのマイナス	1	0.1	2か月連続のマイナス	出超	618
大分空港(大分空港)	-	全減	12か月ぶりのマイナス	-	-		-	-
大分県	55,382	88.8	17か月ぶりのマイナス	98,530	119.2	2か月ぶりのプラス	入超	43,148

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>